

医師 相性も大切

在宅医療

病院の 実力

兵庫編40

かつては大部分が「自宅」で家族に見守られなくなったが、現在は8割の人が「病院」で最期を迎える。そんな中、「患者の尊厳を守り、安心を与える医療」と、自宅で家族に見守られる「看取り」の文化が再認識されている。

利用者の多くは、在宅医療と通院の併用で始まる。しかし、がんなどの病状が悪化し、通院が困難

医療機関ごとの治療実績を紹介する「病院の実力」。今回のテーマは患者の自宅に医師が足を運び、治療に当たる「在宅医療」だ。長尾クリニック(尼崎市)は、約

250人の患者を訪問診療し、緊急時に駆け付ける往診は3か月で150回を数える。長尾和宏院長(52)は「医者とは自宅から車で20分ほどの範囲で探すのがベスト。自分と相性のよい医者ならなおさらよい」とアドバイスする。

長尾クリニック 長尾 和宏院長 52
(尼崎市)



「自宅近くで信頼できる医師を見つけてほしい」と話す長尾院長(尼崎市の長尾クリニックで)

になったり、抗がん剤治療の中止を余儀なくされたりする場合、在宅医療を選択するケースが増えて

いる。その際、通院時から、自身の主治医を考えておけば、スムーズに在宅医療に移行することができる。医者選びは最重要ポイント。長尾院長は「遠くの名医にこだわらず、近くの信頼できるかかりつけ医を探した方がよい。自分の命を任せる医師なので、性格が合うかどうかも大事。同時に看護師などのスタッフについても、よく考えてほしい」と助言する。

さらに、病院が「在宅療養支援診療所」へ申請しているかも着目したい。同診療所は、全国に約1万2000か所あり、24時間対応が義務づけられている。申請する開業医は、熱心に在宅医療に取り組んでいると考えることができる。末期がん患者の在宅期間は平均1か月半。しかし、非がん患者の在宅期間は、その数倍以上になる場合がある。家族らの介護力には限界があり、長期化で生じるストレスなどの心身の負担を減らすためにも、介護に重点を置く療養型病床のある病院と、在宅が行き来できるような連携の仕組み作りが重要だ。

最近では、在宅医療も末期がん専門や、神経難病の専門など細分化が進む。ただ、細分化した在宅医療機関同士との連携には限界があり、長尾院長は「かかりつけ医として、予防も治療も看取りもすべてやるというぐらいの心構えが必要だ」と語る。

往診範囲 確認を

今月の「病院の実力」は、患者の自宅や入所する施設に医師らが訪問する「在宅医療」を紹介する。

在宅医療は、日時を決めて定期的に医師が訪れる「訪問診療」と、急変時に患者宅の要請に応じて昼夜問わず駆けつける「往診」がある。

在宅医療は主に、全国に

約1万2000か所ある在宅療養支援診療所の開業医が支える。ただ、中には、日ごろ診ている通院患者が在宅に移行した時にだけ対応する診療所も多く、実態を把握するのは難しい。

今回の調査では、インターネットなどで、在宅患者を診ていることを確認できた896施設を抽出。昨年

12月にアンケートを送付し、463施設(52%)から有効回答を得た。

表には、受け持ち在宅患者数、昨年4～6月の往診回数、2009年7月から1年間に自宅(高齢者専用賃貸住宅、グループホームなどの施設も含む。老人ホームは含まない)で看取った患者数を示した。受け

持ち患者数は、各施設が訪問診療に割く時間によって決まる。自宅での看取りの数は、末期がん患者を多く診る施設で多い傾向にある。在宅医療を希望する場合、医療機関を探す時の最大のポイントは、自宅が往診可能な範囲にあるかどうかだ。一般的に自宅に近いほど、こまめな対応をとってもらいやすい。まずは近くの医療機関に対応可能かどうか、相談してみるのが良い。

病院の実力「在宅医療」 医療機関別治療実績 (読売新聞調べ)

所在地	医療機関名	受け持ち在宅患者(人)	往診(回)	自宅での看取り(人)
神戸市	北瀬循環器科内科	140	—	1
	新国内科医院	138	26	53
	林山◎	90	69	58
	みどり病院	68	31	28
	関本◎	60	20	45
	小林◎	50	20	22
	石川リハビリ脳神経外科◎	50	30	41
	小沢医院	26	16	2
	山西内科	16	4	2
	竹内医院	10	26	6
姫路市	いたやど◎	—	51	17
	だいたう循環器◎	55	11	18
尼崎市	長尾◎	250	157	49
	さくらい◎	50	42	27
明石市	藤本◎	6	4	2
	阿部医院	150	15	35
西宮市	清田診療所	70	39	2
	ほづ医院	20	4	5
芦屋市	永松◎	30	10	18
伊丹市	◎内藤	110	209	43
加古川市	西村医院	60	184	66
宝塚市	前田◎	50	61	27
高砂市	魚川医院	25	22	32
川西市	さくらホームケア◎	250	180	45

「◎」はクリニック、「—」は無回答など。
 「受け持ち在宅患者」は、受け持っている在宅患者の概数。
 「往診」は2010年4～6月に行った往診回数。
 「自宅での看取り」は2009年7月～2010年6月の1年間に自宅で看取った患者数。

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

主な医療機関の在宅医療実績

①受け持ち在宅患者数(概数) ②2010年4～6月の往診回数 ③09年7月～10年6月の自宅での看取り数

愛知県							
三つ葉在宅①	541	385	98	橋本①	50	24	15
勝川医院	260	159	47	森川①	50	27	11
サンエイ①	200	44	39	真島医院	40	4	14
内科伊藤医院	66	113	11	兵庫県			
すぎもと在宅医療①	40	8	18	長尾①	250	157	49
三重県				さくらホームケア①	250	180	45
在宅医療のゆめ	100	79	42	阿部医院	150	15	35
いせ在宅医療①	50	5	30	新国内科医院	138	26	53
いくわ診療所	50	10	13	①内藤	110	209	43
坂倉ペイン①在宅診療所	25	59	48	林山①	90	69	58
滋賀県				みどり病院	68	31	28
膳所診療所	120	83	14	西村医院	60	184	66
地域包括ケアせいぶき 70～80	70	87	28	関本①	60	20	45
永源寺診療所	63	72	13	だいたう循環器①	55	11	18
京都府				石川リハビリ脳神経外科①	50	30	41
①ほりかわ	250	122	17	さくらい①	50	42	27
渡辺西賀茂診療所	130	174	16	前田①	50	61	27
たなか往診①	80	36	43	小林①	50	20	22
土井医院	74	83	36	永松①	30	10	18
川村①	30	63	33	魚川医院	25	22	32
バプテスト在宅ホスピス緩和ケア①	-	18	32	いたやど①	-	51	17
大阪府				奈良県			
大阪北ホームケア①	150	154	90	宮城医院	75	29	33
梅田①	130	-	30	ホームホスピスひばり①	65	286	166
もみじ在宅診療所	95	33	24	高浜医院	50	77	11
おおさか往診①	90	120	48	夕陽ヶ丘診療所	48	71	14
ふるかわ医院	90	50	20	坂根医院	30	2	11
出水①	65	41	39	和歌山県			
				安川診療所	80	61	19
				岡本①	50	89	21
				やまもと①	49	36	12

長尾クリニック

「①」はクリニック、「セ」はセンター。「-」は無回答。各施設の所在市区町村名は地域版に掲載。
 ※1 緩和ケア①の仙台と岡部医院は連携。受け持ち患者数は2施設の合計数 ※2 往診は夜間のみの数 ※3
 4 在宅患者は自宅患者のみの数 ※5 2010年4月開業。看取り数は同年7月～12月の人数。

在宅医療地域差大きく

寝たきりになっても、自宅で療養したい。そんな要望に応え、自宅に医師が訪ねて診療を行うのが在宅医療だ。

中核を担うのは、24時間体制で往診する「在宅療養支援診療所」。厚生労働省が2006年に創設した制度で、約1万2000施設が登録する。

だが、同省の調査では、全国の支援診療所のうち、在宅医療を行っていない施設は約1割、行っているも看取りをしていない施設は約半数と、実際に機能していない場合も多い。逆に、支援診療所以外で積極的に在宅医療に取り組む施設もある。



102

看取りは一定程度の質の目安にはなるとされるが、末期がんの緩和ケアに力を入れる施設は多い。在宅医療を希望する場合は、近くの医療機関に往診可能な範囲かどうかを尋ね、がん、認知症、人工呼吸器の装着の有無などを説明して相談する。病院から退院して在宅

まずはかかりつけ医に相談

療養を望む場合は入院中から探すが良い。

アンケートを送付した医療機関以外にも、在宅医療を行っている施設は多い。

病院の医療連携室、近所の訪問看護ステーション、ケアマネジャー、地域包括支援センター、市区町村の介護保険窓口で情報を得られる場合がある。福祉医療機構のサイト

「ワムネット」では、全国の支援診療所を検索できる。在宅医療に取り組む医師らで構成する「全国在宅療養支援診療所連絡会」でも、地域の状況を聞ける。

在宅医療は地域差が大きい

く、見つけにくい地域もある。同連絡会事務局長で、おやま城北クリニック（栃木県）院長の太田秀樹さんは「かかりつけ医に相談すると、紹介や自ら往診をしてくれることもある。日ごろから信頼できるかかりつけ医を見つけておいてほしい」と話す。

（館林牧子）

ワムネット <http://www.wam.go.jp/iryo/> *
全国在宅療養支援診療所連絡会 <http://zaitakuiryo.or.jp/>

過去の「病院の實力」は読売新聞の医療サイト「ヨミドクター」のパソコン版（<http://yomidr.jp>）と携帯版（<http://m-yomidr.yomiuri.co.jp>）でご覧になれます（月額有料）。